

## 一 般 質 問 通 告 書

上記の件について、下記のとおり質問したいので、会議規則第 62 条第 2 項の規定により通告します。

平成 31 年 2 月 15 日  
東村山市議会議長 あて

議席番号 23 番  
質 問 者 渡辺 みのる

### 記

#### 1. 認可保育園待機児の現状と対策は

当市では 2013 年を最後に認可保育園の増設を行っていない。保育園入所申請を見ても、保護者が認可保育園への入所を希望していることは明らかである。

希望するすべての子どもが、希望する保育園に入所できるように整備することが“保育の実施主体”である自治体の役割と考え、以下質問する。

##### (1) 2019 年 4 月入所申請の現状

- ① 2019 年 4 月入所分の 1 次審査の結果はどうか。申請者数・内定者数・保留者数を伺う。
- ② 2019 年 4 月入所申請者の第一希望の内訳(保育所・地域型など)を伺う。
- ③ 入所保留の年齢別の内訳と地域ごとの内訳を伺う。
- ④ 地域型保育施設を卒園した子どものうち、保育施設への入所を希望し保留となった子どもの人数を伺う。

##### (2) 今後、東村山の保育環境をどのように整備していくのか。

#### 2. 子どもたちのために学校運営費(配当金)の増額を求める

昨年の 9 月定例会決算委員会で、小中学校の学校運営費(配当金)が足りていないことや、この間ほとんど増えていないことなどを指摘した。

学校現場では、運営費が足りずに「工夫」をして何とか工面している現状がある。子どもたちのために学校運営費(配当金)を増額することを求め、以下質問する。

##### (1) 予算・決算の推移

- ① 過去 10 年間の小中学校運営費(配当金)の予算額・決算額の節別の内訳を伺う。

##### (2) 運営費は十分といえるのか

- ① 予算配分については、これまで各学校の要望をもとに編成しているとのことだったが、要望に応えきれているのか。
- ② 年度末に向けて、消耗品費や印刷製本費、手数料などが足りなくなった場合はどのように対応しているのか。

### 3. 市役所窓口業務の委託をやめよ

当市では、市民課所管の窓口や保険年金課の窓口業務を委託し、民間業者が業務を担っている。

窓口は市民が最初に訪れる場所で、重要な業務であり、日本共産党は再三委託をやめるように提言してきた。

市民が進んで相談できるような窓口にしていくためにも、委託をやめ市職員が業務を行うよう求めて、以下質問する。

#### (1) 窓口の委託状況の確認

- ①窓口業務を委託している理由は何か。
- ②窓口業務を委託している部署を伺う。
- ③委託契約の内容を伺う。
- ④配属された委託先職員の研修はどのように行っているのか。
- ⑤委託している窓口で市民とトラブルになった際の対応はどのようにするのか。
- ⑥業務の報告などはどのように行っているのか。

(2) 窓口業務は市民が最初に訪れ、相談や訪れた市民の様子、対話の内容などで市民の困りごとを把握することができる、非常に重要な業務である。委託をやめ、市職員が業務にあたることを求めるが見解を伺う。

以上